

改訂第6版

# ロータリー財団 ハンドブック

ロータリー財団委員会  
委員必携  
2024

情報研究会

## 目次

<b>第1章. ロータリー財団とは (This is The Rotary Foundation)</b> .....	<b>1</b>
1. 財団の定義 (Definition Of The Rotary Foundation) .....	1
2. 使命 (Mission) .....	1
3. ロータリー財団のビジョンステートメント (The Rotary Foundation Vision Statement) .....	1
4. 歴史 (History of The Rotary Foundation) .....	2
5. 合同年次目標 (Annual Joint Goals) .....	7
6. 財団の指導者 (Leaders of The Rotary Foundation) .....	8
7. 財務 (Finance) .....	13
8. 外部評価 (Outside Ratings) .....	23
9. 協力財団 (Associate Foundations) .....	24
● 公益法人ロータリー日本財団 .....	21
(Public Interest Incorporated Foundation, Rotary Foundation Japan : PIIF-RFJ)	
<b>第2章. 重点分野 (Areas of Focus)</b> .....	<b>27</b>
現在の重点分野 (Current Area of Focus) .....	27
重点分野の目的と目標 (Areas of Focus Statements of Purpose and Goals) .....	27
重点分野の基本方針 (Areas of Focus Policy Statements) .....	28
<b>第3章. プログラムとシェアシステム</b> <b>(Programs &amp; Share System of The Rotary Foundation)</b> .....	<b>29</b>
1. ロータリー財団の資金の使われ方 (How to use Fund of The Rotary Foundation) .....	29
2. ロータリー財団のプログラム (Programs of The Rotary Foundation) .....	30
3. シェアシステム (Share System) .....	31
<b>第4章. 補助金 (Rotary Foundation Grants)</b> .....	<b>35</b>
補助金の種類 (Type of Grants) .....	35
(1) 地区補助金 (District Grants) .....	36
(2) グローバル補助金 (Global Grants) .....	42
(3) 災害救援補助金 (Disaster Response Grants) .....	65
(4) 大規模プログラム補助金 (Programs of Scale Grants) .....	68
● よくある質問 .....	70
<b>第5章. ポリオプラス (Polio Plus)</b> .....	<b>87</b>
1. ポリオプラスとは (Polio Plus) .....	87
(1) 概要 (Brief Overview) .....	87
(2) 「ポリオ」という病気 .....	88
(3) ポリオプラスの意味 .....	88
(4) 世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI : Global Polio Eradication Initiative) .....	88
2. ポリオの現況 (Current situation of Polio) .....	91
(1) 課題 .....	92
(2) ポリオを根絶するために .....	92
3. ポリオプラスプログラムの歴史 (History of Polio Plus Program) .....	94
4. ポリオプラス【パートナーシップが重要である理由】 .....	96
5. ポリオプラスに関する賞 (Awards related to PolioPlus Activities) .....	98

●ポリオプラスエピソード「ポリオプラスに命をかけたロータリアン」	99
6. コロナ禍でもポリオ根絶活動が継続	101
<b>第6章. ロータリー平和センター (Rotary Peace Centers)</b>	<b>104</b>
1. ロータリー平和センターの概要 (Brief Overview of Rotary Peace Centers)	104
2. ロータリー平和センターのプログラム (Programs of Rotary Peace Centers)	106
●よくある質問	113
<b>第7章. パートナー (Partners)</b>	<b>114</b>
パートナーシップ	122
パートナーシップを結んでいる主な団体	117
シェルターボックスとロータリアー	119
ロータリアーとゲイツ財団がポリオ根絶資金の上乗せを延長	120
ロータリアーとUSAIDのパートナーシップ	120
ハビタット・フォー・ヒューマニティと国際失明予防協会とパートナーシップを提携	121
<b>第8章. プロジェクトを立ち上げる (Develop Project)</b>	<b>123</b>
1. プロジェクトの流れ (ライフサイクル) に役立つリソース (Project Lifecycle Resources)	123
2. ロータリーショーケース (Rotary Showcase)	126
3. プロジェクトフェア (Project Fair)	126
<b>第9章. 寄付と認証 (Contribution and Recognition)</b>	<b>128</b>
1. 寄付の分類 (Contribution Classification)	128
(1) 年次基金 (Annual Fund)	129
(2) 恒久基金 (Endowment Fund)	130
(3) ポリオプラス基金 (Polio Plus Fund)	131
(4) その他の寄付 (Restricted Giving)	131
(5) 寄付 (Fund)	132
2. 認証の分類 (Recognition Classification)	133
(1) 個人の認証 (Recognition to Individual)	133
(2) 法人の認証/感謝状	138
(3) クラブに対する認証/感謝状 (Recognition to a Rotary Club)	139
3. 認証ポイント (Recognition Point)	140
4. 税制上の優遇措置 (Tax Advantages)	141
5. データレポート (Data Report)	142
●最近5年間の寄付報告 (6月末暫定)	142
●2022-23年度 財団基金別の割合 (世界ー日本)	143
●最近5年間の寄付額合計ベスト5 地区	144
●よくある質問	159
<b>第10章. ロータリーカード (Rotary Credit Card)</b>	<b>146</b>
(1) マスターカード (Master Card) : Orico	146
(2) ダイナースクラブカード (Diners Card) : 三井住友トラスト(株)	147

<b>第11章. 地区ロータリー財団委員会 (District Rotary Foundation Committee) .....</b>	<b>148</b>
1. 地区ロータリー財団委員会 (District Rotary Foundation Committee) .....	148
2. 委員会の構成 (District Rotary Foundation Committee Structure) .....	150
地区ロータリー財団小委員会 (District Rotary Foundation Subcommittees) .....	150
ポリオプラス小委員会 (District PolioPlus Subcommittee) .....	150
補助金小委員会 (District Grants Subcommittee) .....	151
寄付推進小委員会 (District Fundraising Subcommittee) .....	152
資金管理小委員会 (District Stewardship Subcommittee) .....	152
地区ロータリー平和フェロウシップ小委員会委員長と地区ロータリー平和フェロウシップ小委員会 (District Rotary Peace Fellowship Subcommittee Chair and District Rotary Peace Fellowship Subcommittee) ...	153
その他の任意の小委員会 (Other Optional Subcommittees) .....	154
3. 管理運営 (Administration) .....	154
(1) クラブ・ロータリー財団委員会のサポート .....	154
(2) 目標の設定 .....	154
4. 研修 (Training) .....	155
(1) 地区クラブ活性化ワークショップ (District Vibrant Club Workshop) .....	155
(2) 補助金管理セミナー (Grant Administration Seminar) .....	155
(3) 会長エレクト研修セミナー (President-elect Training Seminar: PETS) .....	156
(4) 地区研修・協議会 (District Training Assembly: DTA) .....	156
5. 表彰 (Awards) .....	156
 <b>第12章. RI 重要文書 (RI Important Document) .....</b>	<b>158</b>
ポリオ関連決議 (86-208, 95-185, 04-219, 07-525, 07-68, 16-118)	
 <b>第13章. 略語と用語集 (Acronym and Terminology) .....</b>	<b>162</b>
1. 略語 (Acronym) .....	162
2. ロータリー財団用語 (The Rotary Terminology) .....	168
(1) ロータリー財団に特に関係する一般ロータリー用語 .....	168
(2) ロータリー財団の評価基準関係 .....	171
(3) モニタリングと評価の計画について .....	172
(4) グローバル補助金 .....	173
(5) グローバル補助金：モニタリングと評価の計画について .....	174
3. ポリオプラス用語 (PolioPlus Terminology) .....	177
 <b>第14章. 申請・準備書類 (Application and Documents) .....</b>	<b>179</b>
1. 寄付送金・認証 (Remittance・Recognition)	
2. 資格認定 (覚書) (MOU)	
(クラブ) (地区)	
3. 補助金申請 (Application of Grants)	
(オンライン申請) (奨学金)	
4. その他 (プロジェクトのヒント)	

## ■参照・出典資料 (Reference) :

- ・ロータリー財団章典 (Rotary Foundation Code of Policies) 2024年1月版 (英文)
- ・ロータリー手続要覧 (Manual of Procedure) 2022年版 (035-JA-822)
- ・国際ロータリー・ロータリー財団 2022-23年度年次報告
- ・ロータリー財団概要資料 (2022年版) (159-JA- (223))
- ・ロータリー財団参照ガイド (219-JA)
- ・重点分野の基本方針 (2023年4月版)
- ・補助金センターのご利用ガイド (2023年8月版)
- ・寄付・認証 ロータリークラブの手引き (2023-24度版) RI日本事務局財団室発行
- ・ロータリー財団 地区補助金 授与と受諾の条件 (2023年3月版)
- ・ロータリー財団 グローバル補助金 授与と受諾の条件 (2023年3月版)
- ・ロータリー財団室 NEWS (月刊:最新版)
- ・ラーニングセンター (ロータリー財団編)  
<https://learn.rotary.org/members/learn/catalog/view/149>
- ・補助金管理セミナーのオンラインセミナー  
[https://my.rotary.org/learn?deep-link=https%3A%2F%2Flearn.rotary.org%2Fmembers%2Flearn%2Flearning\\_plan%2Fview%2F119%2Fbu-zhu-jin-guan-lisemina](https://my.rotary.org/learn?deep-link=https%3A%2F%2Flearn.rotary.org%2Fmembers%2Flearn%2Flearning_plan%2Fview%2F119%2Fbu-zhu-jin-guan-lisemina)
- ・RIウェブサイト <https://www.rotary.org/ja>



# 第1章 ロータリー財団とは

This is The Rotary Foundation

1

ロータリー財団とは

国際ロータリーのロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられた。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となった。ロータリー財団は、財団の法人設立定款と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的、教育的目的のためにのみ運営するものとする。（国際ロータリーのロータリー財団細則）

## 1. 財団の定義

(Definition Of The Rotary Foundation)

ロータリー財団は、ロータリークラブ、ローターアクトクラブおよび地区を通じて実施される、承認された人道的および教育的活動の支援のために寄付を受け付け、資金を分配する非営利財団である。

(財団章典10.010. 2017年9月管理委員会会合、決定8号)

## 2. 使命

(Mission)

**国際ロータリーの使命** 国際ロータリーの使命は、職業人、地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである。

(2022年手続要覧、ロータリー章典26.010.1. 2009年11月理事会会合、決定42号)

**ロータリー財団の使命** ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、負荷をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

(2022年手続要覧、財団章典10.020. 2022年1月管理委員会会合、決定41号)

### ロータリー財団の標語 (Motto of The Rotary Foundation)

「世界でよいことをしよう」(Doing Good in the World) が、ロータリー財団の標語である。

(注) 2015年7月～2018年末迄の「財団の優先項目と目標 (2015年1月管理委員会会合、決定67号)」の第4項目として決定されたもので、現在のロータリー財団章典から削除されているが、現在も財団のモットーとして広く使われている。

## 3. ロータリー財団のビジョンステートメント

(The Rotary Foundation Vision Statement)

管理委員会は以下のビジョンステートメントを採択した。

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

(財団章典10.030. 2017年9月管理委員会会合、決定12号)

## 4. 歴史

(History of The Rotary Foundation)

ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチC.クランプ (Arch C. Klumph) が「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよいことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まった。アーチ・クランプは、6人目(第7代)のRI会長で、ロータリー財団の父と呼ばれている。各地のロータリアンが目先の世界の出来事に目を奪われている第1次世界大戦中にアーチ・クランプの夢が提起された。

数カ月後に、この新しく誕生した基金は米国ミズーリ州カンザス・シティ RCから米貨26ドル50セントの最初の寄付金を受け取った。

1928年ミネソタ州ミネアポリス国際大会で、この基金はロータリー財団と名づけられた。大恐慌が世界中で影響を及ぼし始めた1930年に、財団は、最初の補助金を授与することができ、ロータリーの創始者、ポール・ハリスが名前を秘して、500米ドルを寄付し、身体障害児童保護国際協会にその500米ドルを贈ることを要望した。この行為はロータリー財団の歴史を振り返ると現在のポリオプラスを予感させるように思える。

その後、ロータリー財団は国際ロータリー理事会の同意の下に信託宣言を作成し、1931年11月12日に信託組織となった。この信託宣言の大要は、ロータリー財団が受け取り管理する財産およびその収益は、すべて国際ロータリーが行う活動のためにのみ支出されるというものであり、この信託宣言は今も生きている。

ちなみにロータリー財団月間(注)は、11月であるが、当初は、11月15日を含む1週間が財団週間であった。信託宣言が11月であったことで財団月間が11月である理由の一端があると言える。

### (注) ロータリー財団月間 (The Rotary Foundation Month)

1964-65年度RI理事会と管理委員会は、毎年11月15日を含む1週間をロータリー財団週間とすることを定めた。その後、1983-84年度に、11月をロータリー財団月間と定めた。11月には、全クラブが同時に財団月間を実施し、この月間はクラブが財団プログラムを支援、推進、参加する特別の期間である。月間中、財団の活動を広く知らせる手段として、ロータリー財団補助金受領者を通じて、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演する。財団の奨学金事業および人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施するためのRI理事会指定の月間。

(ロータリー章典8.020. 2022年10月理事会会合、決定29号)

1947年1月27日に、ポール・ハリスがイリノイ州シカゴの自宅で亡くなった。70カ国以上30万人以上のロータリアンがロータリーの創始者の死を悼み、寄付金が国際ロータリーに相次いで寄せられた。財団のほうでも、ポール・ハリス記念基金を設け、ポールに敬意を表したいロータリアンに対して、財団寄付をお願いした。その反響は素晴らしいもので翌年の7月迄に、130万米ドル以上が寄付された。

1948年には最初の財団プログラム、高等研究奨学金により、米国、ベルギー、英国、フランス、メキシコ、中国の18人の若い人たち(当時奨学生は全員男性、2年目からは女性にも奨学金が授与された)が選ばれ、他国でそれぞれの専門分野(大学院課程)を勉学した。当時、この人たちはポール・ハリス・フェロー、ロータリー・フェローと呼ばれていたが、これが最初のロータリー国際親善奨学生だった。



日本で最初のロータリー国際親善奨学生は清水長一氏で、1950年に米国のコーネル大学で学び、2

# 第2章 重点分野

## Areas of Focus

2

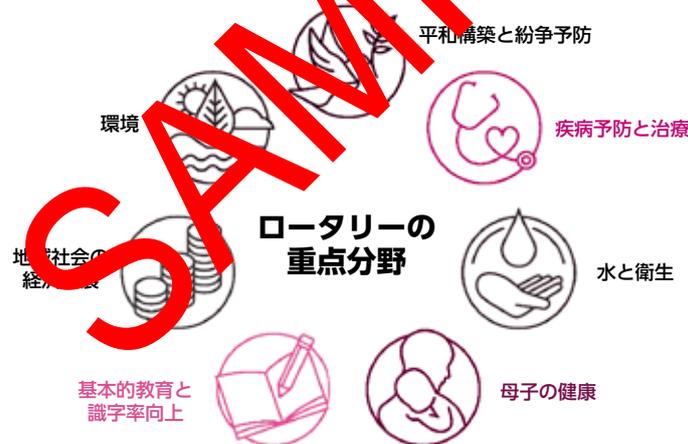
重点分野

ロータリーは、平和の取り組みを支え、ポリオを根絶するために、国際的な協力関係を築き、人びとの生活を改善し、より良い世界をつくることに尽力しています。ロータリーのすべての奉仕プロジェクトはこれらの分野を中心としていますが、グローバル補助金と大規模プログラム補助金による人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームはいずれも、ロータリー財団の以下の重点分野の少なくとも一つにおける特定の目標をめざすものであることが条件となります。（ロータリー財団参照ガイドより）（参考）下記は、財団章典（2023年6月版：31.010.～31.010.2.7.）の記述通りであるが、その邦訳は、最新の添付の資料1J-「重点分野の基本方針（2023年4月版）」である。

### 現在の重点分野（Current Area of Focus）

財団はロータリー財団グローバル補助金について以下の7つの重点分野を支援する。

1. 平和構築と紛争予防（Peacebuilding and Conflict Prevention）
  2. 疾病予防と治療（Disease Prevention and Treatment）
  3. 水と衛生（Water, Sanitation, and Hygiene）
  4. 母子の健康（Maternal and Child Health）
  5. 基本的教育と識字率向上（Basic Education and Literacy）
  6. 地域社会の経済発展（Community Economic Development）
  7. 環境（Environment）
- （財団章典 31.010.1. 2021年4月管理委員会会合、決定102号）



### 重点分野の目的と目標（Areas of Focus Statements of Purpose and Goals）

重点分野の基本方針について、ロータリー財団は以下の点を強調する。

- 「未来の夢（Future Vision）」の目標は、補助金手続きの効率、および補助金によるプロジェクトの質を高めることである。
- 各方針の内容は、補助金の受領資格の有無を示している。
- 受領資格の範囲内にある活動は、ロータリークラブと地区がこれまで最も頻繁に実施してきた活動内容を反映したものとなっている。
- プロジェクト計画は、ボトムアップ式に、提唱クラブ／提唱地区が主導して行う。
- 補助金の全申請は、各重点分野の基本方針に沿っていなければならない。

（財団章典 31.010.2. 2012年6月管理委員会会合、決定167号）

## 重点分野の基本方針 (Areas of Focus Policy Statements)

7つの重点分野について、それぞれの下記項目については、最新の「重点分野の基本方針 (Areas of Focus Policy Statements) : (2023年4月版)」を参照のこと。

- 重点分野の目的と目標 (Area of Focus Statement of Purpose and Goals)
- 受領資格のある実行目標と活動 (Parameters for Eligibility)
- 人道的プロジェクトと職業研修チーム (VTT) を成功させるための要素 (Elements of Successful Humanitarian Projects and Vocational Training Teams)
- 奨学金を成功させるための要素 (Elements of Successful Scholarships)

### 1. 平和構築と紛争予防 (Peacebuilding and Conflict Prevention)

ロータリーは、地元や海外の地域社会における紛争転換を促す活動を通じた、平和構築と紛争予防に関連する研修、教育、実践を支援する。(財団章典 31.010.2.1. 2019年10月管理委員会会合、決定27号)

### 2. 疾病予防と治療 (Disease Prevention and Treatment)

ロータリーは、疾病の原因と影響を減らすための活動を支援する。この分野のプロジェクトは、医療サービスへのアクセスの改善および拡充、医療機器の提供、または医療従事者の研修によって医療システムを強化する。(財団章典 31.010.2.2. 2019年10月管理委員会会合、決定27号)

### 3. 水と衛生 (Water, Sanitation, and Hygiene)

ロータリーは、安全な水源の管理と保護を促し、安全な飲み水と衛生（衛生設備や衛生教育など）への普遍的かつ公平な利用を実現する活動を支援する。ロータリー財団は、環境的に健全で、測定可能かつ持続可能な介入を通じて、政府、諸機関、地域社会が水と衛生の分野における事業を管理できるようエンパワメントを図ることに力を入れている。

(財団章典 31.010.2.3. 2019年10月管理委員会会合、決定27号)

### 4. 母子の健康 (Maternal and Child Health)

ロータリーは、母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援する。この分野のプロジェクトは、医療サービスへのアクセスの改善および拡充、医療機器の提供、および医療従事者の研修によって、医療システムを強化する。

(財団章典 31.010.2.4. 2019年10月管理委員会会合、決定27号)

### 5. 基本的教育と識字率向上 (Basic Education and Literacy)

ロータリーは、すべての子どものための教育を改善し、子どもと成人の識字率を高めるための活動と研修を支援する。(財団章典 31.010.2.5. 2019年10月管理委員会会合、決定27号)

### 6. 地域社会の経済発展 (Community Economic Development)

ロータリーは、貧困地域や十分な支援が得られない地域で測定可能かつ長期的な経済発展を創出し、人びとと地域社会が貧困を緩和していけるよう支援する。

(財団章典 31.010.2.6. 2020年11月管理委員会会合、決定56号)

### 7. 環境 (Environment)

ロータリーは、天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援する。ロータリーにおいて環境の持続可能性とは、生物の最善の利益のために、生態学的完全性、地球の健康、将来の世代をサポートする方法で、地球の天然資源の責任あるケアと使用が行われるようにすることを意味している。(財団章典 31.010.2.7. 2023年4月管理委員会会合、決定100号)



### 1. ロータリー財団の資金の使われ方

(How to use Fund of The Rotary Foundation)

寄付の種類によって使われ方は違う。

- ① 年次寄付金は3年間、資金として運用し、その運用益は財団の運営費に使われる。  
元金は3年後、財団の運営費(5%)を除き地区財団活動資金(DDF)、および国際財団活動資金(WF)として47.5%ずつ戻される。これがシェアシステムと呼ばれるものである。
- ② 恒久基金は元金を使わない。運用益のみを地区と財団で使う。
- ③ ポリオプラスやロータリー平和フェロースHIPおよびロータリーの重点分野等に対する寄付に指定した寄付金は、指定されたポリオ根絶のためやフェロースHIP支援および指定された重点分野等にのみ全額が使われる。
- ④ グローバル補助金へのクラブからの寄付金は、指定されたグローバル補助金プロジェクトに使われる。

#### 寄付の種類 (Gift Options)

寄付には以下の2種類がある。一般寄付と制限付き寄付である。

(財団章典 52.030.1. 2000年4月管理委員会会合、決定126号)

##### ● 一般寄付 (General Giving)

資金の用途を指定しない寄付。(年次基金—シェアなど)

##### 年次基金 (Annual Fund)

一般寄付を行う寄付者は資金の用途を指定しない。

- 各会計年度末に、一般寄付は地区ごとに合計される。
- 各地区の一般寄付合計額は、2021年7月より地区財団活動資金(47.5%)と国際財団活動資金(47.5%)および運営費(5%)の資金に分けられた。これが、年次基金—シェアシステムである。
- 各地区は、指定した用途に使用できる資金残高を含む地区財団活動資金「口座」を持つ。プログラムオプションが地区によって選出されるたびに、該当する必要資金がその用途に充当され、後に「口座」から支出される。
- 国際財団活動資金(WF)へ直接寄付も行うことができる。寄付者からの寄付は金額を問わず国際財団活動資金に100%充てられる。

各資金には投資収益が発生する(利息、配当金、および実現/含み損益)。これらの投資収益は「収益収入資金」という個別口座に記録される。地区財団活動資金(DDF)、国際財団活動資金(WF)、収益収入資金がまとまってロータリー財団の一般資金を構成する。

(財団章典 52.030.2. 2002年1月管理委員会会合、決定78号)

##### ● 制限付き寄付 (Restricted Giving)

制限付き寄付は特別な用途が寄付者によって指定されている寄付すべてを指す。

- 恒久基金への寄付はこの資金に計上される

- ポリオプラスへの受領寄付はこの資金に計上される
- 承認済み特別補助金への寄付は、支出されるまで一時的に特別用途資金に計上される
- 冠名基金によるものではない冠名奨学金への寄付は特別用途資金に計上される
- 個人の寄付者からの特別用途を指定した 25,000 米ドルを超える寄付は特別用途資金に計上され、その用途に充当される
- 特別用途を指定した 25,000 米ドル未満の寄付または共同資金寄付は国際財団活動資金に計上される
- 寄付者からの寄付は金額を問わず国際財団活動資金に 100% 充てられる。

(財団章典 52.030.3 2000 年 4 月管理委員会会合、決定 126 号)

## 2. ロータリー財団のプログラム

(Programs of The Rotary Foundation)

- ① **ポリオプラス (Polio Plus)**  
ポリオ根絶はロータリーの最優先項目。ポリオ常在国、ウイルス流入国、高リスク国を中心とした世界のポリオ根絶のための取り組み。
- ② **ロータリー平和センター (Rotary Peace Center)**  
世界に 7 つあるロータリー平和センターのいずれかで、国際関係、平和、紛争解決とその関連分野（修士号取得プログラムまたは専門能力開発プログラムに分かれている）を学ぶ学生へ平和フェローシップ（奨学金）が与えられる。
- ③ **補助金プログラム (Rotary Foundation Grants)**  
人びとによりよい生活をめざし、地域社会に貢献するロータリアンの活動を支えている。

### ロータリー財団の補助金

#### 1. 地区補助金 (DG : District Grants)

地元や海外の地域社会のニーズに取り組む小規模で短期間の活動に資金を提供する。

#### 2. グローバル補助金 (GG : Global Grants)

ロータリーの重点分野において持続可能で測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支える。(対象プロジェクトの予算額は 3 万ドルで、WF の授与額は 40 万ドル以内である。)

上記の 2 つの補助金とも、人道奉仕プロジェクト (Humanitarian Projects)、奨学金 (Scholarship) および職業研修チーム (VTT : Vocational Training Team) の 3 つの活動からなる。

#### 3. 災害救援補助金 (Disaster Relief Grants)

自然災害の被災地における救援・復興活動を支援する。

#### 4. 大規模プログラム補助金 (Programs of Scale Grants)

他団体とのパートナーシップの下に、ロータリー会員が主導する国際的活動に資金を提供する。この目的は、より多くの場所でより多くの人たちに恩恵をもたらし、未永く続く変化を助長していくために、重点分野においてすでに実績のあるプログラムモデルを拡大していくものである。

# 第4章 補助金

Rotary Foundation Grants

ロータリー財団は、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム（VTT）を支援する各種補助金を提供している。

## 補助金の種類

(Type of Grants)

ロータリー財団は、財団の使命（ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること：財団章典 10.020.）と一致する事業に対して下記に示す補助金が支給される。

ロータリー財団の補助金は、下記の通りである。

- (1) 地区補助金
- (2) グローバル補助金
- (3) 災害救援補助金・大規模災害補助金
- (4) 大規模プログラム補助金

### ●補助金の件数と授与総額

473 地区補助金の数	324 災害救援補助金の数	1,092 グローバル補助金の数	1 大規模プログラム補助金の数
\$26m 授与総額 (単位：百万)	\$1.5m 授与総額 (単位：百万)	\$55m 授与総額 (単位：百万)	\$2m 授与総額 (単位：百万)

### ●ロータリー補助金のサイクル

グローバル補助金の申請は、随時受け付けている。12のステップから成る申請手続は、ウェブサイトの補助金センターを通じて行うこと。

#### ロータリー補助金のライフサイクル



##### 申請書の作成

ロータリー会員がプロジェクト、奨学金、職業研修チームの計画を立て、オンラインで補助金申請書を入力する。

##### 提唱者/地区の承認

クラブと地区のリーダーが申請書を確認し、これを承認する。

##### 提出

補助金の提唱者が申請書をロータリー財団に提出する。

##### 財団の承認

ロータリー財団が補助金を承認したら、補助金の支払いが行われる。

##### 終了

会員がプロジェクトを遂行し、活動や留学が終わって補助金が終了するまで毎年、財団に報告書を提出する。

4

補助金

## ●補助金の地区資格認定と申請

### 地区の補助金参加資格認定

補助金の申請に先立ち、地区リーダーは、「覚書（MOU）」にあげられた諸要件に従うことに同意する必要がある。

「補助金センター\*」は、ロータリー財団補助金に関するオンライン手続きと補助金の関連資料を1カ所にまとめた便利なサイトである。申請手続きから報告まで提出ができる。ただし、My Rotaryでアカウントを登録して利用する。

補助金センター\*：<https://my-cms.rotary.org/ja/document/how-use-grant-center>

### 補助金申請を開始

グローバル補助金および災害救援補助金を申請する場合は、「補助金申請サイト\*\*」でオンラインで行う。（サイト上部には、「地区番号」、地区認定状況：「地区の認定済み」が表示されていることを確認後、申請を開始する。）

申請書への入力、クラブまたは地区が協同提唱者とともにプロジェクトの計画を立て、補助金申請の意向を地区に伝えた後で開始する。申請書の全設問に明確かつ簡潔に答える。補助金の受領条件を満たすために申請書に修正を加える必要がある場合には、ロータリー財団職員から連絡がある。

補助金の申請サイト\*\*：[https://grants.rotary.org/s\\_main.jsp?lang=7](https://grants.rotary.org/s_main.jsp?lang=7)

## (1) 地区補助金 (District Grants : DG)

地区補助金は、比較的小規模で短期間のプロジェクトを支援する補助金である。地区補助金による活動は、地元や海外で今すぐ必要とされる支援に取り組むものとし、どの活動に補助金を支給するかは、各地区が決定する。

地区補助金は、地区やクラブの幅広いプロジェクトや活動に活用できる。

- 人道的プロジェクト（奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など）
- 奨学金（教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし）
- 青少年プログラム（ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム [RYLA]、インターアクト、新世代交換）
- 職業研修チーム (VTI) の派遣（現地の人びとに職業研修を行うチーム、または現地で職業スキルを学ぶチームの派遣）

地区補助金はさまざまな奉仕プロジェクトに柔軟に活用できる。地区補助金の要件および制約事項については、ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件（2023年3月版）を参照のこと。

（参照）ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件（2023年3月版）

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/terms-and-conditions-rotary-foundation-district-grants>

### (a) 地区補助金の計画

地区補助金は、地区財団活動資金 (DDF) からの配分のみによってロータリー財団から支給されるものである。地区は、一つまたは複数のプロジェクトを支援するために、地区のシェア配分（地区の3年前の年次基金への寄付および恒久基金 [シェア] 収益を合わせた額の 47.5%）の 50%までを使っ

# 第5章 ポリオプラス

PolioPlus

## 1. ポリオプラスとは

(Polio Plus)

### (1) 概要 (Brief Overview)

ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わった。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5カ年間の誓約だった。これが、保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)プログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与された。



1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画し始めた。世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムである。ロータリーは、故アリバート・セービン博士の助言と支援を得て、1985年にポリオプラス・プログラムを設けた。ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的としているものをポリオプラスと呼んでいたが、ポリオプラスの『プラス』は最初の頃と意味が変わって、現在は、世界的なポリオ根絶運動がもたらした遺産のことを指している。

ロータリー財団または国際ロータリーの他の補助金プログラムからの資金をポリオ以外のワクチンまたはポリオのリハビリに使用することができる。ただし、ポリオプラス基金はこのような活動に活用されない。(ロータリー財団章典 32.020.)

1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきた。世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体とともにロータリーが活動を開始した1988年には、125カ国で35万件以上の発症が確認されていたが、以来、30億人以上の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少している。

ロータリーは1985年以来、ポリオ根絶活動に22億米ドル以上の資金(ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む)を投入している。

また、アドボカシー(政府への働きかけ)を通じて、援助国、民間団体、多角的センター、および非援助国からGPEIへの寄付額は150億ドル以上になっている。

### ●ポリオが今も残る国は2カ国だけなのに、なぜ15億米ドルも必要?

ポリオ根絶まであと15億米ドルが必要とされている。なぜ資金が必要なのか。ポリオを根絶するには、野生株ポリオ・ウイルスによる発症が起きている2カ国(パキスタン・アフガニスタン)でウイルスの感染を断ち切らなければならない。さらに、既に「ポリオフリー」となった国にウイルスが流入しないようにする必要がある。ウイルス流入のリスクが高い国々(最高60カ国)では、現在も子どもへの大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われている。すべての子どもがポリオにおびえずに暮らせる日が来るまで、活動をやめるわけにはいかない。

ポリオを完全に根絶しない限り、今後10年間に新たな発症数が世界で20万件に上ると推定されている。

ロータリーは2017年6月のアトランタでのロータリー国際大会で7月1日から向こう3年間で

5

ポリオプラス

1億5,000万米ドル（毎年5,000万米ドル）を約束した。2019年1月22日、ポリオ根絶に年間1億5,000万ドルを投入するための長期パートナーシップをさらに、継続することを発表した。この提携の下、ロータリーは今後3年間、毎年5,000万ドルを拠出することを目標に掲げ、ゲイツ財団がロータリーの拠出金に対して2倍額を上乗せすることとなる。この資金は、疾病のサーベイランス（監視活動）、技術支援、予防接種活動の運営支援など、ポリオ根絶活動に充てられる。ロータリーとゲイツ財団のパートナーシップによりこれまで22億ドルが生み出された。ポリオ根絶がいよいよ現実になる日が近づいている。

## (2) 「ポリオ」という病気

ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもである。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもある。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染で、神経系を侵すこともあり、これによって身体の麻痺を引き起こす可能性がある。ときには死に至ることもあり、治療法はないが、ワクチンで予防が可能である。

ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中約30億人の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきた。

野生型ポリオウイルスによる発症は、減少しているが、加えて、効果が高い新型経口ポリオワクチン2型（nOPV2）の投与が始まっている。

## (3) ポリオプラスの意味

1985年にロータリーがポリオプラスを開始した時、「プラス」という言葉は、ポリオ根絶の取り組みが、子どもの間に流行する他の5種類の伝染病（はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）の予防接種にも広がるだろうという考えを表していた。時とともに、ポリオ根絶の取り組みによる恩恵は増えてきた。

ポリオワクチンを投与するキャンペーンでは、ビタミンAのサプリメントを配布するといった健康面から命を救う手段が生まれた。ワクチンを運搬、保存するための新しい物流方法により、発展途上地域での感染症との闘いが以前より容易になった。

また新たなポリオ発症の発見を目的とする研究所や診療所の巨大なネットワークによって、ポリオだけでなく、ほかのウイルスの感染状況も監視できるようになった。加えて、ロータリーが立ち上げに寄与した世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）は、世界的な保健問題に取り組むための官民パートナーシップの手本として国際的に知られている。このように、ポリオプラスの「プラス」は、ポリオが常在する2カ国での感染抑止にとどまらず、ポリオがこの世からなくなった後にも、ほかの感染症との闘いを支えていくインフラと協力態勢という遺産をも意味している。

## (4) 世界ポリオ根絶推進活動（GPEI : Global Polio Eradication Initiative）

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）という言葉を知っていますか。これは、国際ロータリーをはじめとするパートナー団体と各国政府による、世界からポリオを根絶することを使命とする官民共同のパートナーシップである。

1988年に世界保健総会がポリオ根絶を決議し、GPEIが立ち上げられて以来30年間、懸命な活動によりポリオの発症数は99.9%減少。根絶実現に向けたラストスパートを迎えた今、このパートナーシップの重要性



# 第6章 ロータリー平和センター

Rotary Peace Centers

## 1. ロータリー平和センターの概要

(Brief Overview of Rotary Peace Centers)

ロータリー平和センタープログラムにはビジョンがある。それは、紛争予防と解決に取り組む平和活動家とリーダーのネットワークを通じた、持続可能な平和の構築である。

このビジョンを実現するため、ロータリーは8つの一流大学と提携を結んでロータリー平和センターを運営している。これらの平和センターでは、平和構築者のエンパワーメント、教育、スキル向上に焦点が置かれ、理論的な研究と実践的な研修のほか、グローバルなネットワークを構築する機会を得ることができる。

2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1,700人以上のフェローを輩出してきた。これらのフェローは現在、140カ国以上で活躍し、政府、NGO、教育、研究機関、平和維持および法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮している。



- デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校  
(合同で一つのアンドセンターを運営) (米国)
- 国際基督教大学 (日本)
- ブラッドフォード大学 (英国)
- クイーンズランド大学 (オーストラリア)
- ウプサラ大学 (スウェーデン)

これらに加え、2つの平和センターでは、平和と紛争研究に関する専門能力開発修了証取得プログラムを提供している。場所は、ウガンダのマケレレ大学とトルコのパーチェシヒル大学にあり、オンライン学習、教室での授業、社会変革イニシアチブを合わせた1年間のプログラムが実施される。

毎年、最高で130名までのロータリー平和フェローが選ばれ、修士号取得プログラムまたは専門開発能力修了証プログラムのいずれかで学ぶ。

修士号取得プログラムではキャリア開始時期にあるリーダーを対象とし、専門能力開発修了証プログラムでは平和と開発分野でリーダーシップスキルを発揮した経験がある人を対象としている。

修士号取得プログラムでは毎年、最高50名が選ばれる。これは修士号取得プログラムを提供する5つの平和センターそれぞれで10名ずつとなる。期間は15カ月から24カ月である。

専門能力開発修了証プログラムでは、毎年最高で80名が選ばれる。このプログラムを提供する2つの平和センターで20名ずつ、2回に渡ってフェローを受け入れる。プログラム期間は1年間である。

**修士号取得プログラム**は、実践的な研究を土台としたプログラムである。フェローは、多様な背景や職業経験をもつ大学院生である。

### 修士号取得プログラムの主な利点：

多様なカリキュラムを通じた学術研修が得られる。各センターではそれぞれの大学の強みが生かさ

6

ロータリー平和センター



れており、さまざまな枠組みで平和と紛争について研究することができる。コースは平和と紛争解決を土台とし、交渉、仲介、人権、国際開発といった主題にトピックが置かれている。

フェローは2～3カ月の現地研修（全額支給）を計画、実施する。現地研修は、理論を実行する機会となる。

フェローは、ロータリアンや同期の平和フェローとネットワークを築く機会が得られる。

ロータリーが主催するワークショップを通じて、困難な状況に対応するための専門的スキルを発展させることができる。

大学や地元のロータリークラブ・地区が主催する年次セミナーで、自分の研究について発表する機会が得られる。

理想的な修士号取得プログラムの候補者は、学問に長け、関連分野の学士号を有し、平和と発展の職歴を有している。

候補者は、平和と紛争解決へのコミットメントを示し、知識を求めて広範な読書と議論を行い、多様な学生集団の中で積極的に参加できることが求められる。

プログラム終了後も、自分の仕事や経験を進んで分かち合い、それぞれの地域の平和フェローと連絡を取り合い、ロータリー会員との強いつながりを維持しなければならない。

#### その他の条件：

- ・英語に堪能であること
- ・学士号を取得していること
- ・職業、学業、奉仕を通じて異文化間の理解と平和への強いコミットメントがあること
- ・優れたリーダーシップスキルを実証していること
- ・平和または開発分野において少なくとも3年間のフルタイムの職歴を有していること（デューク大学の場合は5年間）

**専門能力開発修了証プログラム**は、すでに関連分野での仕事経験がある人を対象としている。

この1年間のプログラムでは、さまざまな背景と専門的な経験をもつ学生が、地域社会や世界中で平和を促進するための実践的なスキルを身につける。フェローは現地研修を完了し、社会変革イニシ

## パートナーシップ

(Partnerships)

RI およびロータリー財団と提携 (partnerships) を結ぶ団体は一応次のように分類されている。いずれも国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会の承認が必要である。他団体とのパートナーシップには、次の4種類がある。

### ●戦略パートナー (Strategic Partners)

「戦略」パートナーシップは、国際ロータリーおよび (または) ロータリー財団と、非政府組織、政府機関、慈善財団、企業、または大学などの他団体によって、ロータリークラブや地区によるプロジェクトを推進するために公式に結ばれる関係である。戦略パートナーシップは、双方の組織がかなりの資金、専門知識/技術的スキル、アドボカシー、またはこれらの組み合わせを注いでいる戦略計画を支えるための、大規模で複数年のプログラムにおける関係である。

(財団章典 60.020. 2017年9月管理委員会会合、決定 43号)

ロータリーは、平和と紛争解決の研究でリーダー的存在である経済平和研究所 (Institute for Economics and Peace) との戦略的パートナーシップを締結している。

### ●リソース・パートナー (Resource Partners)

リソースパートナーシップとは、国際ロータリーまたはロータリー財団とその他の団体 (非政府組織、政府機関、慈善財団、企業、または大学) が結ぶ公式な関係である。リソースパートナーシップは、国際ロータリーまたはロータリー財団のプロジェクトや行事を支援するため、リソース (資金、現物、人材、技術的資源を含む) の短期 (3年未満) 配分を提供する。

(財団章典 60.030. 2017年9月管理委員会会合、決定 43号)

### ●奉仕パートナー (Service Partners)

「奉仕」パートナーシップは、国際ロータリーおよび (または) ロータリー財団と、非政府組織、政府機関、企業、または大学などの他団体によって、地元、国内、国際的に、ロータリークラブや地区によるプロジェクトの強化を目指して機会または専門知識を提供するため、公式に結ばれる関係である。奉仕パートナーシップは、グローバル性、柔軟性、拡張性があり、小規模なものから大規模なものまで、また短期から長期まで、幅広いものとなる。奉仕パートナーはロータリー会員が行う人道的活動に、持続的な地域社会への影響の増加、公共イメージと認知度の向上などの測定可能な価値を加える。奉仕パートナー候補は、クラブと地区の両方またはいずれか一方と、地元の、または国際的なプロジェクトの立案および実施を共同で行った十分な経験を提示しなければならない、ロータリー会員との連携について報告し、数値化する能力を有していなければならない、ロータリー会員と直接プロジェクト実施を共同で行う能力を有していなければならない。奉仕パートナーは事務局からいかなる資金も受領しない。事務局の役割はパートナーシップを管理し、ロータリアンのパートナーとの協力を推進することである。

(財団章典 60.040. 2018年4月管理委員会会合、決定 122号)

アショカ、ハビタット・フォー・ヒューマニティ (Habitat for Humanity)、国境なき調停者団

(Mediators Beyond Borders International)、平和部隊 (Peace Corps)、シェルターボックス (ShelterBox) などが含まれる。

### ●プロジェクト・パートナー (Project Partners)

プロジェクト・パートナーシップは国際ロータリーおよび (または) ロータリー財団とロータリー組織と提携関係にある別団体との間で結ばれる正式な関係である。通常は、ロータリークラブ、地区、またはロータリアンが開始または運営している独立非政府団体である。プロジェクト・パートナーシップは、国際的で、柔軟性と拡張性があり、小規模なものから大規模なものまで、また短期から長期まで幅広いものができる。プロジェクト・パートナーはロータリー会員が行う人道的活動に、持続的な地域社会への影響の増加、公共イメージと認知度の向上などの測定可能な価値を加える。プロジェクト・パートナー候補は、地元や海外でのプロジェクトの計画と実施においてクラブや地区との協力に関する十分な成功例を示し、ロータリー会員との連携を報告かつ数値化する能力を有し、ロータリー会員と直接協力してプロジェクトを実施する能力を有していなければならない。プロジェクト・パートナーシップは事務局から資金を一切受領しない。事務局の役割はパートナーシップを管理し、ロータリー会員とパートナーとの関わりを推進することである。プロジェクト・パートナーの活動は、RIウェブサイトの専用ページを通じてクラブおよび地区に対して周知が図られる。(財団章典 60.050. 2019年4月管理委員会会合、決定 108号)

### 一般的な指針

国際ロータリーおよびロータリー財団は、ロータリーの奉仕の能力を増大するようなパートナーシップを他団体と結んでいる。パートナーシップには、戦略、リソース、奉仕、プロジェクトの四種類がある。すべてのパートナー候補は、次のうち少なくとも一つに該当していなければならない。

- a) 戦略計画に沿う
- b) 一つ以上の重点分野に取り組み、その分野に貢献する
- c) 好ましい公共イメージの機会をもち、それを活用する
- d) 新規の会員、寄付者またはプロジェクトのボランティアを引きつける

パートナー候補はきわめて多岐にわたるため、ガイドラインは上記のみに留まらない。すべてのパートナー候補はRI/ロータリー財団と契約を交わすものとする。契約の内容は各件によって異なる。

ロータリーおよび (または) ロータリー財団は、時には宗教的志向をその使命に明記または示唆する団体とパートナーシップを結ぶことができるが、このパートナーシップの結果として特定の宗教に関わる団体、活動、または見解を推進してはならない。宗教的志向をその使命に明記または示唆する団体とのパートナーシップ案はすべて、それが適切であることを確認するために、職員による慎重な調査 (資金面での考慮および説明責任を含む)、財団委員会による審査、および管理委員会とRI理事会による承認を経る。いかなるパートナーシップも、分析により協力関係がもはや適切ではないと判断された場合、見直しおよび終結の可能性の対象となる。

ロータリーはパートナー、その製品またはサービス、方針または立場を推奨しない。パートナーシップは、パートナーの製品またはサービス、方針または立場のロータリーによる推奨または承認を暗示しない。パートナーシップは、ロータリーとのいかなる排他的取り決めも暗示しない。

パートナーシップは、いかなるロータリーの活動、出版物、立場、または方針の内容に対しても、パートナーによる支配または影響の許諾を暗示せず、合同推進活動、行事、または活動のために策定された取り決めの条項を超えてパートナーの利益を高めるためにロータリーが影響力を行使することを暗

# 第8章 プロジェクトを立ち上げる

Develop Project

## 1. プロジェクトの流れ（ライフサイクル）に役立つリソース (Project Lifecycle Resources)



奉仕プロジェクトを立案・実施し、成果を測定して、それを広く紹介する。プロジェクトには一連の流れ（ライフサイクル）がある。ここでは、プロジェクトの始めから終わりまで、各段階でご利用いただけるリソースを紹介する。

### 計画・準備

地域に大きな影響を与え、クラブと地域が協力しながら実施できるプロジェクトには、入念な計画が欠かせない。それぞれの地域社会には独自の資産や課題がある。世界で最も重要なニーズに応えるロータリーの重点分野について参照のこと。

#### ◆ 地区内のエキスパートが持つ知識を生かす

多くの地区には、技術的専門知識やプロジェクト計画の経験が豊かな地元のエキスパートから成るネットワーク（地区リソースネットワーク）がある。立案プロセスの早い段階でこのネットワークを紹介してもらい、プロジェクトやグローバル補助金を向上させるためのリソースを利用できるように、地区国際奉仕委員長にサポートを依頼する。地区や地域のエキスパートは、以下の分野でクラブを支援することができる。

- プロジェクトをロータリーの重点分野に沿ったものにする
- プロジェクトの立案・実施に必要な支援を募る
- グローバル補助金の手続きを学ぶ
- 地域のニーズ調査を実施する
- 援助国側提唱者を見つける
- 資金を確保する
- プロジェクトの持続可能性を確保する
- 成果の測定と評価の基準値を決める

地元や海外のエキスパートを見つける上では、地区奉仕委員会、財団委員会、ロータリアン行動グループまたはロータリー財団専門家グループなどからサポートを得ることができる。

8

プロジェクトを立ち上げる

### ◆オンラインでアイデア交換する

財団専門家グループのメンバーが中心となっているウェブサイトのフォーラムグループに参加し、アドバイスを募ったり、アイデアを紹介したりしよう。フォーラムには、ロータリアン行動グループ、ロータリー地域社会共同隊、グローバル補助金などに携わっているメンバーが運営しているグループもある。

### ◆ニーズ調査を実施する

計画・準備の段階で重要なのは、地域社会のニーズ調査である。ニーズ調査を実施する際は、地域社会の人たちと協力しよう。ニーズを調査することによって、プロジェクトでどのようなリソースが必要かを見極めることができる。ロータリー地域社会共同隊は、地域社会の人たちとの関係構築の一助となる存在である。

### ◆奉仕プロジェクトの目標を設定する

プロジェクト目標の設定と目標達成の進捗を記録するため、ロータリークラブ・セントラルを利用しよう。グローバル補助金を利用してプロジェクトを実施することを検討している場合は、成果の測定方法やモニタリング計画の見本が掲載されている「グローバル補助金、モニタリングと評価の計画について」を参照のこと。

### ◆全体的な計画を立てる

プロジェクトの全体的な計画を綿密に立てれば、リソースの管理や起こり得る問題の予測だけでなく、プロジェクトの成果の評価をしっかりと行うことができる。プロジェクト全体を監督するクラブ奉仕プロジェクト委員会を設置することをお勧めする。

## リソースの収集

プロジェクトに必要なリソースを集めるには、クラウドソーシング（不特定多数の人にオンラインで支援を募る方法）、補助金、募金活動をしよう。

### ◆「ロータリー アイデア応援サイト」を活用する

プロジェクトに必要なリソースを募ることができるクラウドソーシングサイトである。

- グローバル補助金やその他のプロジェクトのパートナーを見つける
- 世界中からプロジェクトへの支援を募る。具体的な募金額を設定することができる
- 現物寄贈を募る。現物寄贈の場合も、資金と同様の価値がある
- ボランティアを募る

### ◆ロータリーの補助金を利用する

ロータリー財団は、プロジェクトに充てることができる補助金を提供している。

- グローバル補助金は、持続可能で測定可能な成果をもたらす、大規模な国際的活動を支援
  - 地区補助金は、地域社会のニーズに応える、小規模で短期間の活動を支援
- 補助金センターから補助金を申請すること。

### ◆募金活動を実施する

### ◆パートナーと協力する

ローターアクト／インターアクトクラブのメンバー、ロータリーのパートナー組織、ロータリアン行動グループ、ロータリー地域社会共同隊、国際共同委員会と協力して、より充実したプロジェクト

# 第9章 寄付と認証

## Contribution and Recognition

ロータリー会員はポリオ根絶活動やロータリー平和センター、重点分野の支援など様々な活動を通じて、世界をよりよい場所にするため、世界各地で活躍している。このような活動と寄付はいわば車の両輪のようなもので、どちらが欠けても先には進めない。

寄付に対して、感謝の気持ちを表すために、ロータリー財団からはさまざまな認証の機会が用意されている。寄付者とすぐ分かるように着用できるピンなどが贈られる。

寄付額は年々累計を算出される。

なお、各種寄付はオンラインでRIウェブサイトからクレジットカードを利用したの寄付とクラブ経由での寄付ができる。いずれも公益財団法人ロータリー日本財団を通してのロータリー財団への寄付に対して日本の法律に基づく税制上の優遇措置が受けられる。

クラブの年次基金目標を達成するために、認証レベルを上げるために、ポール・ハリス・ソサエティ会員を増やすなど、様々な工夫、活動をされ、尽力しているロータリー会員の芯にあるものは、「世の中をよくしたい」という思いではないだろうか。



Because of you, the world is a better place.

<寄付・認証についての問い合わせ先>

国際ロータリー日本事務局 財団室

E-mail : rijpnt@rotary.org / FAX : 03-5439-0405

電話番号 : 03-5439-5805

### 1. 寄付の分類

(Contribution Classification)

ロータリーは、ガバナーが地区ロータリー財団委員会、地区研修・協議会、地区とクラブの財団セミナー、クラブ訪問などの正規の経路を通じて、ロータリー会員とクラブによるロータリー財団への寄付の重要性を強調するよう提案している。

財団補助金の継続的な発展を支援するために、毎年、ロータリー財団の年次基金に寄付することがすべてのロータリー会員に奨励されている。ロータリー会員はまた、遺言や資産計画に、恒久基金への贈与の旨を記載することを考慮するよう奨励されている。

金額を問わず、年次基金、ポリオプラス、恒久基金、その他指定の基金に寄付することができる。またロータリー財団は認証制をとっている。

- (1) 年次基金 (Annual Fund)
- (2) 恒久基金 (Endowment Fund)
- (3) ポリオプラス基金 (PolioPlus Fund)
- (4) その他の基金 (Other Fund)

## 2023-24 年度の寄付・その他の目標

### 世界：

- 年次基金：1 億 5,000 万ドル
- ポリオプラス基金：1 億 5,000 万ドル（ゲイツ財団からの上乗せ含む）
- 恒久基金：1 億 4,000 万ドル（2025 年までに 20 億 2,500 万ドル）
- その他の現金寄付：6,000 万ドル（グローバル補助金への現金拠出等）
- 全体（上記合計）：5 億ドル

### 日本：

- 年次基金：一人当たり 150 ドル  
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成、EREY（年次基金への寄付）の推進、ポール・ハリス・ソサエティの推進（各地区+ 30 名目標）
- ポリオプラス：一人当たり 30 ドル
- 恒久基金：冠名基金を各地区 1 件以上設立
- 大口寄付：1 万ドル以上のご寄付 100 件、AKS10 名増（日本全体）
- ポリオプラスへ DDF の 20% を寄贈
- ロータリー平和センター、重点分野への DDF 寄贈
- 世界ポリオデー（WPD）の推進
- 補助金の活用の促進
- ロータリー平和フェローシップの推進 （財団室 NEWS より）

## (1) 年次基金 (Annual Fund)

「年次」というのは“毎年続ける”ということとで、財団の「Every Rotarian, Every Year」の取り組みを通じて寄せられる寄付である。ロータリークラブや地区が地元で奉仕プロジェクトを実施したり、奨学金を提供したりするための助成金として活用されるほか、国際的な取り組みを支える大切な資金となる。寄付金は、寄付の約 3 年後に使用される。年次基金への寄付は、以下の寄付者認証の対象となる。

- 「財団の友」会員
- ポール・ハリス・フェロー／マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- ポール・ハリス・ソサエティ
- メジャードナー
- アーチ・クランフ・ソサエティ

### 年次基金の種類

シェア	寄付の 47.5% ずつが DDF（地区財団活動資金）と WF（国際財団活動資金）、5% が運営費となる。地区の活動やロータリー財団の活動に活用される。
WF （国際財団活動資金）	グローバル補助金に対する上乗せや、その他財団プログラム（ポリオプラス、ロータリー平和センター等）の資金などに活用される。
重点分野	重点分野（平和構築と紛争予防、水と衛生、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、母子の健康、疾病予防と治療、環境）のいずれかを指定して寄付ができる。指定した分野のグローバル補助金プロジェクトへ活用される。

# 第10章 ロータリーカード

Rotary Credit Card

2000年9月に国際ロータリーは、クレジット・カード・プログラムを開始した。

米国 (VISA Card) で誕生し、2010年には、13カ国 (米国、カナダ、日本、アイルランド、メキシコ、フィリピン、韓国、スペイン、台湾、タイ、英国、フランス、ドイツ) でロータリーカードを申し込むことができる。日本では、Master Card (オリコ) が2003年2月に個人カード、2013年7月に法人カードが始まり2016年2月にDiners Clubがクラブカード、2017年3月に個人カードが始まった。現実施国は5カ国 (日本、アメリカ、カナダ、ドイツ、スリランカ) である。

世界全体で、2000年以降のロイヤリティは総額約900万米ドル (2013-14年度迄) に上り、そのうち約360万ドルはポリオ根絶に役立てられた。

日本では、ロータリーカードは二社 (マスターカード・オリコとダイナースクラブ) で扱っている。カード利用額の0.3～0.5%がポリオ根絶活動資金へ寄贈されている。

例えば、2万円のカード利用で1人分のポリオ生ワクチン約60円となる。

(不活性ワクチンは4、5回の接種が必要で副反応はないが、高価 (約5,000円/回) で資格のある者が接種しなければならない。)

## ●過去3カ年度のロータリーカード利用総額 (日本)

年度	カード利用総額	ポリオ根絶への活動資金
2016-17年度	17億2,100万円	1,058万円
2017-18年度	19億700万円	1,164万円
2018-19年度	19億9,100万円	1,183万円
2019-20年度	20億4,000万円	1,134万円
2020-21年度	16億349万円	949万円
2021-22年度	20億7,541万円	1,021万円
2022-23年度	25億7,327万円	1,182万円

(2023年11月 ロータリー研究会 財団地域セミナー資料より)

## 日本におけるロータリーカードの種類と概要

### (1) マスターカード (Master Card) : Orico

	個人		法人
	スタンダード	ゴールド	
デザイン			
年会費	無料	11,000円 (税込)	3,300円 (税込)
ポリオ根絶支援資金	利用額の0.3%	利用額の0.3% 年会費より3,000円	利用額の0.5% 年会費より1,500円

申し込み先：<http://www.orico.co.jp/merchant/rotary/index.html>

オリコテレフォンサービス：0120-911-004

(注) ポイント交換：1,000スマイルで5,000円 (買い物1,000円で1ポイント)

(その他)

- ・ローターアクトクラブのRI加盟（2019年COL）によりローターアクターの適応が2020年1月より始められた。
- ・個人用カードに限りポイント交換（1,000スマイルで5,000円）で年次基金として加算できる。

## (2) ダイナースクラブカード (Diners Card) : 三井住友トラスト(株)

	個人	コーポレート
	スタンダード	クラブ・地区・地区委員会向け
デザイン		
年会費	24,200円(税込)、 家族会員：5,500円(税込)	無料
ポリオ根絶 支援資金	利用額の0.3% 入会報奨金5,000円	利用額の0.3%
その他	年齢は27歳以上	

申し込み先：[http://www.diners.co.jp/entry\\_form/lp/rotary/index.html](http://www.diners.co.jp/entry_form/lp/rotary/index.html)

ダイナースコールセンター：0120-04-962

コーポレートカード：0120-309-517

個人カード：0120-951-51

(注) ポイント交換については、ダイナースへお問い合わせください。

### ●コーポレートカードについて

地区大会、クラブの例会費用やロータリークラブ、事務用品の購入や人頭分担金の支払いに利用され、カード利用の0.3%がポリオ根絶への支援につながる。

#### ・経費処理の効率化

地区、クラブ、委員会の口座を指定してカード利用で一元管理。仮払い清算や振り込みにかかる労力や時間、振込手数料の削減につながる。

#### ・カードの年会費が無料

年度の役員交代でカードの入会・退会手続きを要するが、カードの年会費は一切かからない。

### コーポレートカードの対象

**ク ラ ブ**：会長、副会長、幹事、会計、会場監督 (SAA)、理事、会長エレクト、次期副会長、次期幹事、次期会計、次期理事の方が対象

**地 区**：ガバナー、ガバナー補佐、地区代表幹事、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、次期ガバナー補佐、次期地区代表幹事、次期地区会計長の方が対象

**地区委員会**：地区内の各委員会委員長、地区内の次期各委員会委員長、RI理事、RI理事エレクト、地域コーディネーターの方が対象

(留意点)

日本の各地区でコーポレートカードでの地区分担金等の支払いが可能かどうかは地区事務所へ問い合わせてください。

### ◆ロータリーカード推進動画 (Rotary Credit Card-Japan)

ロータリー推進用ビデオ：例会や行事で上映したり、クラブのウェブサイトやソーシャルメディアでもご紹介ください。

動画：<https://vimeo.com/116090742>

# 第11章 地区ロータリー財団委員会

District Rotary Foundation Committee

## 1. 地区ロータリー財団委員会

(District Rotary Foundation Committee)

地区ロータリー財団委員会 (DRFC) は地区の財団補助金および寄付推進活動に参加するようロータリー会員の教育、意欲喚起、啓発を補佐する。小委員会の委員長は本委員会の委員である。

ガバナーエレクトは、任期が始まる前に、委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員長を任命し、計画会議を開く責任がある。地区ガバナーは委員会の職権上の委員であり、地区ロータリー財団委員会の決定を反映するため、地区財団活動資金の使用を許可する 2 名分の署名のうち 1 名分を担当する。現職の地区ガバナーは地区ロータリー財団委員会委員長を務めることはできない。(財団章典 25.010. 2023 年 4 月管理委員会会合、決定 80 号)

### 資格要件

地区内の補助金活動を支援する重要な役割を担うため、地区ロータリー財団委員長は財団のプログラム、重点分野、補助金、およびファンドレイジングについて実際的な知識と経験を有するべきである。地区ロータリー財団委員長は、プログラムへの参加、財団の分野における専門経験、財団への寄付の実績に基づいて任命されるべきである。

(財団章典 25.0101. 2023 年 4 月管理委員会会合、決定 80 号)

### 委員会委員の資格

地区リーダーシップ・プランで規定される最小限の推奨資格に加え、委員会委員は、プログラムへの参加歴、財団に関する専門知識ならびに過去の寄付への積極的な取組に応じて任命されるべきであるよう推奨されている。

(財団章典 25.010.2. 2023 年 4 月管理委員会会合、決定 80 号)

### 研修の要件

地区ロータリー財団委員会のすべての委員は、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) が実施するロータリー財団地域セミナーに出席するよう推奨される。さらに、すべての委員は、ロータリー章典第 20 条に記載されている通り、地区チーム研修セミナーやその他の地区研修会に出席および参加することが期待される。委員は、各自の任期が始まる前に、ロータリーのラーニングセンターにある関連オンラインコースを完了することを期待されている。

(財団章典 25.010.3. 2023 年 4 月管理委員会会合、決定 80 号)

### ●地区ロータリー財団委員長 (DRFC) の任命と任期

地区ロータリー財団委員会が効果的に機能するには、リーダーシップに継続性を持たせる必要がある。そのため、地区ロータリー財団委員長は 3 年任期として任命するものとし、十分な理由による解

任の対象とする。

地区ロータリー財団委員長の3年目の任期において各年度に予定される地区ガバナーが合同で地区ロータリー財団委員長を選出する。地区ロータリー財団委員長の任期3年目に就任する地区ガバナーがまだ選出されていない場合、ほかの2名のガバナーが地区ロータリー財団委員長を合同で選出し、3年目の任期に就任するガバナーはこの決定を受け入れ、従わなければならない。この選出は、翌年度の7月1日に就任する前の12月31日までに実施し、地区ガバナーエレクトによって報告されるべきである。

ただし、2年目および3年目の任期の時のガバナーがともに選出されていない場合、地区ロータリー財団委員長の選出は、地区ロータリー財団委員長の選出について2年目または3年目の任期の時のガバナーが1年目のガバナーと合同で同意できるまで待たなければならない。まだ選出されていない3年目のガバナーはこの選出に従うことに同意しなければならない。

地区ロータリー財団委員長が任命されるまで、地区は地区財団活動資金を使用することはできない。一つの地区が二つ以上の地区に分割される場合、旧地区の地区ロータリー財団委員長は自分のクラブが所在する地区の地区ロータリー財団委員長となる。残りの新しい地区では、章典に記載された任命手順に従って新しい地区ロータリー財団委員長を任命する。

一つの地区が他の地区と合併する場合、新たに合併される各地区について、合併の発効日から開始する3年の任期で新しい地区ロータリー財団委員長が任命される。

(財団章典 25.010.4.2009年4月管理委員会会合、決定80号)

## ●地区ロータリー財団委員長の任務および責務

地区ロータリー財団委員長は

1. 任期が始まる前に、ロータリーのラーニングセンターで、補助金管理セミナー、地区委員会の基本、DRFC中級の学習プラクティスを完了する。
2. 地区ロータリー財団委員会の委員が、第25.010.3.項に定められた期待されている研修内容を修了していることを確認する。
3. クラブおよび地区の資格状況を含め、地区のすべての財団活動について地区ガバナーに月次報告を行うものとする。
4. 地区ロータリー財団委員会が、地区補助金の資金配分について概略を説明した地区方針を確立するようにする。
5. 地区ガバナーと共に、地区ロータリー財団委員会の決定を反映するため、地区財団活動資金の使用を許可する2名分の署名のうち1名分を担当するものとする。
6. グローバル補助金の申請が完了したことを確認し、提唱クラブが資格を備えていることを確認するものとする。
7. 地区補助金の代表連絡担当者を務めるものとする。
8. 地区の資格認定手続および資格要件の順守を監督するものとする。これには、財政管理計画の年次財務審査およびその実施が地区内のクラブに適切に配分されていることの確認を含む。
9. 地区ガバナー、地区研修リーダー、および地区研修委員会と協力して、地区セミナー、地区研修・協議会、会長エレクト研修セミナー、および補助金管理セミナーの計画、運営、推進を議題と内容に重点を置いて行うものとする。
10. 補助金委員長と協力して補助金活動を監視し、すべての補助金プロジェクトが適時に実施され

### ポリオ関連決議

#### 採択決議案 86-208

(提案者：RI理事会)

2005年までに世界の児童にポリオの免疫を与えるという国際ロータリーの誓約を確認する件。

理事会とロータリー財団管理委員会は、開発途上国の子供にポリオその他の疾病の免疫を与える「ポリオプラス」という20カ年計画を採択した。

本提案は、この計画を確認して国際ロータリーの集団意志を表明するものである。

#### 採択決議案 95-185

西暦2000年までにポリオを根絶し、西暦2005年までに根絶の証明をすることが、全国的、国際的団体および機関と協力、調整したうえでの国際ロータリーの最優先目標であることを支持、是認する件

国際ロータリーは、創始75周年の折に、保健、創設、追放および人間性尊重プログラムの開発を手がけた。このプログラムの目標は、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的、社会的向上発展を図ることである。

国際ロータリーは、西暦2005年のロータリー100周年までに、国際レベル、全国レベル、都市レベルの保健機関と協力して、世界の児童をポリオから守るという目標を設定した。

ポリオの予防接種プログラムに参加する100カ国5億人の児童を予防接種するという当初の目標は達成された。

国際レベル、全国レベル、都市レベルの保健機関と協力、協議するロータリーのポリオプラス・プログラムの最終目標は、世界からポリオを根絶することである。

国際ロータリーは次のように決議する。

西暦2000年までに最も効率的に直接に世界のポリオを根絶し、次いで、国際ロータリーの100周年の西暦2005年までにその証明をする、という目標を、国際ロータリーの最優先目標として支持、是認する；

ポリオの根絶と児童の予防接種の目標を達成するのに役立つような活動にロータリアンとロータリークラブが積極的に参加できる情報、方法、手段をロータリアンとロータリークラブに提供できるよう要請する。

1995年の規定審議会において、世界がポリオから開放されたと証明される日が来るまで、ポリオ根絶がロータリーの第一の目標であると決定

**長期計画目標および趣旨項目を推薦する件**

国際ロータリー理事会は、長期計画が国際ロータリーのために必須であることを確定した。

国際ロータリー理事会は、目標および趣旨項目をもつ長期計画を採択した。

次の項目を含む国際ロータリーの長期計画の目標および趣旨項目を、2004年規定審議会に推薦するものである。

**第1目標：ポリオの根絶**

## 趣旨項目

1. ロータリー財団並びに協同提唱者による根絶活動の完了のために、資金充当と人資源の擁護にあたる。
2. できるだけ早い期日までに根絶証明を達成するため、世界的な長期計画活動に参加する。
3. ロータリアンおよび一般公衆に、ロータリーがポリオ根絶活動に参加していることについて高レベルの認識を維持する。

RI戦略計画がRIのために必須であり、その第一目標としてポリオの根絶

## 採択決議案 04-525

**重要な人道的ニーズに応える活動を継続するが、長期計画によって推奨されるまでは、新たな法人協賛プログラムを採用しないようクラブに働きかける件**

新たな法人協賛プログラムあるいは特別な世界的強調事項の採択を提案する数多くの決議案が本審議会に持ち込まれたが、こまごま否決あるいは保留となった。

審議会議員は、貧困、マラリア根絶、人口抑制、清浄水、識字、エイズ、地雷、危機下の児童擁護、その他の人道的ニーズを含む（ただし、これらに限らない）重要な全世界的問題についての深い懸念を表明し、確認することを望んでいる。

これら重要な全世界的問題は注目を集め、今後もRI理事会およびロータリー財団管理委員会の注目を引き続き集めるものと思われる。

ロータリアンおよび審議会に代表議員を派遣したロータリークラブは、人道的ニーズに適う幅広いさまざまな活動に、全面的に取り組む構えである。

しかるが故に、国際ロータリーの決議により、国際ロータリーは、審議会で確認されたような重要な人道的ニーズに適う活動を継続するよう全クラブに働きかけ、奨励するが、新たな法人協賛プログラムプログラムが長期計画によって推奨され、審議会で採択され、ポリオプラス・プログラムの目標が達成されるまでは、現時点でそのようなプログラムを採択することは国際ロータリーの意図するところではないものとする。

# 第13章 略語と用語集

Acronym and Terminology

## 1. 略語 (Acronym)

ロータリーの資料には、いろいろな略語が出てくる。それらの略語をまとめ、簡単に説明を加えた。現在では、使われていない略語も含んでいる。

- AF** …………… (Annual Fund) 年次基金  
年次寄付を入れておく基金。
- AFE** …………… (Applied Field Experience) 専攻分野の実地体験。ロータリーセンター・プログラムにおいて学年度間の休暇期間中にフェローが専攻分野に基づく研究のために実地活動をするもの。
- AKS** …………… (Arch C. Klumph Socieity) アーチ・クランフ・ソサエティー
- AKU** …………… (Aga Khan University) アガ・カーン大学
- ARRFC** …………… (Assistant Regional Rotary Foundation Coordinator) ロータリー財団地域コーディネーター補佐
- CDC** …………… (Centers for Disease Control and Prevention) 米国疾病対策センター
- CED** …………… (Community Economic Development) 地域社会の経済発展 (重点分野の一つ)
- CGA** …………… (Charitable Gift Annuity) 慈善年金、単に GA とも言う
- CLE** …………… (Concentrated Language Encounter) 語学力強化研修講座  
1987年から1999年にかけてタイで実施され、タイ全土のすべての公立学校で採用され、全国のロータリークラブや地区で現在も活用されている識字教育法。
- CLP** …………… (Club Leadership Plan) クラブリーダーシップ・プラン
- CMS** …………… (Citation for Meritorious Service) 財団功労表彰状
- COL** …………… (Council On Legislation) 規定審議会
- COR** …………… (Council On Resolutions) 決議審議会
- CRS** …………… (Club Recognition Summary) クラブ寄付認証概要
- cVDPV** …………… (circulating Vaccine Derived PolioVirus) ポリオ・ウイルス・ワクチンに由来とする循環ポリオ・ワクチン由来とするポリオ・ウイルス
- DAF** …………… (Donor Advised Fund) 使途推奨冠名基金
- DDF** …………… (District Designated Fund) 地区財団活動資金
- DEI** …………… (Diversity, Equity and Inclusion) 多様性、公平さ、開放性のこと。ロータリーは、さまざまな人が参加できる開放的な組織、すべての人に公平で、善意を築き、社会に役だつ組織づくりに努めている。この目標を実現するため、RI 理事会は、多様性、公平さ、開放性に関する声明を採択した。

- DG** …… (District Grant) ロータリー財団地区補助金  
これは地区ガバナー (District Governor) と同じなので、前後の文脈から判断すること。
- DIN** …… (Donation-in-Kind Information Network) 現物拠出情報ネットワーク
- DLP** …… (District Leadership Plan) 地区リーダーシップ・プラン
- DNA** …… (The Disaster Network of Assistance) 災害支援ネットワーク
- DRFC** …… (District Rotary Foundation Committee) 地区ロータリー財団委員会
- DRFCC** …… (District Rotary Foundation Committee Chair) 地区ロータリー財団委員長
- DSA** …… (Distinguished Service Award) ロータリー財団特別功労賞
- DTA** …… (District Training Assembly) 地区研修・協議会
- EAP** …… (Emergency Action Plan) ポリオの緊急行動計画
- E/MGA** …… (Endowment /Major Gift Adviser) 恒久基金 / 大口寄付アドバイザー
- EPNC** …… (End Polio Now Coordinator) ポリオ根絶コーディネーター
- EPNZC** …… (End Polio Now Zone Coordinator) ポリオ根絶ゾーンコーディネーター
- EREY** …… (Every Rotarian, Every Year) 毎年、一人一人が年次基金への寄付する計画
- ESRAG** …… (Environmental Sustainability Rotary Action Group) 環境の持続可能ロータリー行動グループ
- FARG** …… (Foundation Alumni Resources Group) 財団学友諮問グループ
- FVP** …… (Future Vision Plan) (ロータリー財団) 未来の夢計画
- Gavi** …… (Gavi. The Vaccine Alliance) ガビワクチンアライアンスはポリオ根絶 GPEI、WHO、国際ロータリー、ビル&リンダ・ゲイツ財団のコアパートナーの一つである。
- GETS** …… (Governors-Elect Training Seminars) ガバナーエレクト研修セミナー
- GFN** …… (Global Food Banking Network) グローバル・フード・バンキング・ネットワーク、ロータリーの奉仕パートナー
- GG** …… (Global Grants) グローバル補助金
- GNTS** …… (Governor Nominee Training Seminars) ガバナーノミネー研修セミナー
- GPEI** …… (Global Polio Eradication Initiative) 世界ポリオ根絶推進活動または世界ポリオ根絶推進イニシアティブ
- GSE** …… (Group Study Exchange) 研究グループ交換
- HGCTA** …… (Humanitarian Grants Cadre of Technical Advisors) 人道的補助金専門家
- IA** …… (International Assembly) 国際協議会
- IA** …… (Interactor) インターアクター (インターアクトクラブ会員)
- IAC** …… (Interact Clubs) インターアクトクラブ
- IAPB** …… (the International Agency for the Prevention of Blindness) 国際失明予防協会
- ICC** …… (Inter-Country Committees) 国際共同委員会

#### 1. 寄付送金・認証

◇寄付送金明細書

<https://my.rotary.org/ja/document/piif-contribution-form-rotarians-clubs>

◇寄付・認証 ロータリークラブの手引き

[https://1drv.ms/u/s!Am5vZ-rEzAfog18lz\\_rnOHFCrYT\\_?e=YSxguw](https://1drv.ms/u/s!Am5vZ-rEzAfog18lz_rnOHFCrYT_?e=YSxguw)

#### 2. 資格認定 (覚書)

##### (クラブ)

◇クラブ参加資格認定：覚書 (MOU)

<http://www.rotary.org/myrotary/ja/document/6121>

◇クラブ覚書 (MOU) 実施に関する指針

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/club-memorandum-understanding-resources-guide-implementing-club-mou>

◇クラブ覚書 (MOU) ワークシート

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/621>

◇クラブの参加資格認定 よくある質問

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/10021>

##### (地区)

◇地区参加資格認定：覚書 (MOU) <http://www.rotary.org/myrotary/ja/document/10261>

#### 3. 補助金申請

◇グローバル補助金授与と受諾の条件

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/terms-and-conditions-rotary-foundationglobal-grants>

◇地区補助金授与と受諾条件

<https://my-cms.rotary.org/ja/document/terms-and-conditions-rotary-foundationdistrict-grants>

##### (オンライン申請)

◇補助金センター <https://my.rotary.org/ja/user/login?destination=secure/13166>

◇補助金センターのご利用ガイド <https://my.rotary.org/ja/document/how-use-grant-center>

◇グローバル補助金ガイド <https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/guide-global-grants>

◇モニタリングと評価の計画書 <https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/5676>

◇グローバル補助金申請テンプレート <https://my.rotary.org/ja/document/global-grant-application-template>

◇グローバル補助金報告書テンプレート <https://my.rotary.org/ja/document/global-grant-report-template>

◇グローバル補助金計算表 <https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/global-grant-calculator>

##### (奨学金)

◇奨学金の提供 <https://www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/empower-leaders/create-scholarship>

◇ロータリー平和フェローシップ

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/empower-leaders/support-peace-centers>

◇ロータリーの学友 <https://www.rotary.org/myrotary/ja/alumni>

◇グローバル補助金奨学生のテンプレート

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/global-grant-scholarship-candidate-application-template>

#### 4. その他 (プロジェクトのヒント)

◇重点分野の基本方針 <https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/areas-focus-policy-statements>

◇プロジェクトの流れ (ライフサイクル)

<https://my.rotary.org/ja/take-action/develop-projects/project-lifecycle-resources>

◇ロータリーショーケース [http://map.rotary.org/ja/project/pages/project\\_showcase.aspx](http://map.rotary.org/ja/project/pages/project_showcase.aspx)

◇MYROTARYの補助金と専門家グループに関するレポートの利用方法

<https://my.rotary.org/ja/document/using-grants-reports-my-rotary>

